

令和八年度 夏の俳句

学級	俳句 ―季語
二年一組	こいのぼり ゆらゆらおよぐ そらのうえ
二年二組	夏の朝 学校いくまで あつすぎる
三年一組	ぷかぷかの うきわでうかぶ たびきぶん
三年二組	たなばたに 気持ちをこめて お願いだ
三年三組	夏の朝 せみのなき声 さわやかな
四年一組	くらげはね 夏でもひらひら およいでる
四年二組	夏の月 夜空にうかぶ 一等星
五年一組	梅雨がやみ てるてる坊主の 役果たし
五年二組	風鈴の 音にほどける 暑さかな
五年三組	せみの声 続く道沿い ひまわりや
六年一組	風渡り 風鈴チリン 涼をよぶ
六年二組	夏の夜 夜空に咲いた 花火の輪